

総合訪問始まる

一人一人の子どもを大切にしている教育活動を！



6月7日(木)をスタートに、今年度は小学校10校・中学校3校の総合訪問が予定されています。今回は6月に実施された3校について、紹介をします。他校の教育活動を共有することで、お互いに学び合い高め合うことができればと思っています。

一関市立川崎中学校

●合言葉は「全ては光る」

子どもも教師も保護者も地域の方も全てが光る教育活動を目指しています。まさに一人一人を大切にしている教育です。

●対話を生かした授業

確かな学力の育成のために、対話を生かし、「分かる授業」「楽しい授業」を実践しています。



授業中の子どもたちの表情も生き生きとしていました。意思表示を明確にさせる指導をしてきたことで、表現力が付き、自分の思いを自分の言葉で伝えることのできる子どもになりました。

●授業と連動した家庭学習

生徒会とも協力して、50日カレンダーを作成し、全員提出に取り組んでいます。訪問した日は、連続達成33日目でした。

●「生活5原則運動」

生徒会の実践目標として設定することで、子どもたちが主体的に活動に取り組んでいます。

- ①あいさつと会釈をしよう
- ②「授業の約束」を守って学習しよう
- ③清掃に真剣に取り組もう
- ④命を大切にしよう
- ⑤心と体を鍛えよう

奥州市立大田代小学校

●直接指導・間接指導・ガイド学習

全校児童19名の複式学級。各教室で意欲的に学習に取り組んでいました。児童の実態に応じた授業が展開されています。

●学びの基礎

授業では「『ふすま』って何ですか？」という現代っ子の一面をのぞかせる子どもたちでしたが、「話の聴き方」「返事の仕方」「発表の仕方」「読む・書く」といった学びの基礎が、しっかり身に付いています。ノートも丁寧にまとめていました。

●復興教育

教育計画に「復興教育」が位置付けられています。復興を担う人材を育てるという気概をもって、取り組まれています。安全指導の充実も図られています。



●あいさつ・作文・神楽

伝統がしっかり受け継がれています。廊下ですれ違った子どもたちの、語尾上がりの「さようなら～」に、「明日も学校に来たい！」という思いが伝わってきました。

奥州市立江刺東中学校

●学校教育の命は授業

各教室で意欲的に、姿勢よく子どもたちが授業に臨んでいました。子どもたちの知的好奇心を喚起する工夫がなされています。

また、黒板にはきちんと「本時の課題」が板書されており、一時間のねらいが明確です。

先生方の笑顔も印象的でした。

●家庭学習の改善

「提出を意識した家庭学習」から「理解を意識した家庭学習」にシフトしています。教科担任が課題を提示し、宿題の内容は学級の掲示板に記し、みんなで確認できるようにしています。

●所属感・自己肯定感・有用感をもたせるために

意図的・計画的な行事の取組を展開しています。三大行事(運動会・文化祭・三年(みとせ)の会)では、子どもたちに思いっきり取り組み、感動を体験させています。教師は、子どもたちの成長を認め、ほめます。学校が、子どもたちの居場所になるよう心がけています。



あたいまえのことを大切にしている教育を！

≪外山敏所長の挨拶より≫

やりたくてもやっちはいけないことは絶対しない

⇒ **我慢する心**

やりたくなくてもやらなければいけないことは必ずやり通す

⇒ **頑張る心**



